

給食で食を考えましょう!!

☆学校給食週間について知ろう

1月24日から30日までは「全国学校給食週間」です。

毎日食べている給食の歴史を知ること、給食への理解を深めるとともに、学校給食は給食に関わるさまざまな人のおかげでできていることを知しましょう。この一週間は特に感謝の気持ちをもって給食を食べるようにしましょう。

☆給食の歴史を知ろう

学校給食は、今から137年前の明治22年に山形県鶴岡町にあった忠愛小学校で始まりました。お弁当を持ってくるのができない子どもたちのために、おにぎり・塩ざけ・つけものなどを無料で提供した食事が学校給食の始まりとされています。

以来、各地に学校給食の提供が広がっていきましたが、戦争などの影響などによって中断した時期もありました。戦後の食糧難による栄養状態が悪化し、児童生徒の栄養改善を目的に外国からの支援を得て、昭和21年12月24日にふたたび給食の提供が始まりました。

この日を学校給食感謝の日と定め、冬休みと重ならないように1か月後の1月24日から1月30日までを「全国学校給食週間」としました。

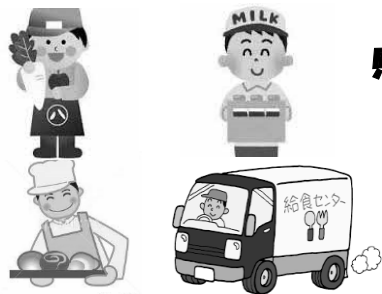


☆学校給食に関わる人々...



漁師・農家・畜産農家など
食べ物を生産する人

献立を考える人、調理をする人、配膳をする給食当番の人



食品を卸したり、運んだりする人、パンを作る人

感謝の気持ちで

「いただきます」

たくさんの方が関わっているんだね。



大阪市食育推進キャラクター
「たべやん」

大阪市の学校給食のうつりかわり

昭和24年(1949年)

北中道、精華、金塚の3小学校で給食が始まる。

昭和25年(1950年)

大阪市内の全ての小学校で給食が始まる。

昭和56年(1981年)

月1回の米飯給食が始まる。

平成9年(1997年)

焼き物機が入り焼き魚やグラタンが献立に登場する。

平成13年(2001年)

米飯給食が週2回になる。

平成15年(2003年)

米飯給食が週3回になる。

平成19年(2007年)

食物アレルギー個別対応給食が始まる。

平成30年(2018年)

牛乳が紙パックになる。

令和元年(2019年)

学校調理方式の中学校給食が始まる。

★食べ物や給食に関わる人への

感謝の気持ちをもって食べましょう。